

2021 年度定時総会

2021 年 6 月 25 日

一般社団法人コミュニティサポートおおいた

2021 年度一般社団法人コミュニティサポートおおいた

定時総会次第

日 時 2021 年 6 月 25 日(金)

13:00～

会の実施方法 zoom(収録)

1. 開会

2. 代表あいさつ

3. 議長選出

4. 議事

第 1 号議案 2020 年度事業報告

第 2 号議案 2020 年度決算について(監査について)

第 3 号議案 2021 年度事業計画について

第 4 号議案 2021 年度予算について

第 5 号議案 その他

5. 閉会

4. 第1号議案 2020年度事業報告

(1) 大分県「令和2年度ネットワーク・コミュニティ推進体制整備事業委託業務」

2020年度は、大分県おおいた創生推進課が新事業として実施する「ネットワーク・コミュニティ(NWC)推進体制整備事業」を受託した。本事業は大分県における地域運営組織向けの中間支援事業で、「市町村の方針策定等の支援」、「集落における組織設立支援」、「ガイドブックの作成」の3つの業務から構成される。「市町村の方針策定等の支援」、「集落における組織設立支援」に関しては竹田市明治地区を清水、他の市町村・集落を山浦が担当した。当初は合計で50回の支援を想定していたが、新型コロナウイルスの拡大により地域内での会議が困難な時期があり、最終的な支援回数は43回となった。それに伴い、当初契約時の委託金額から386,088円の減額となった。

各事業の具体的な内容については以下の通りである。

1) 市町村の方針策定等の支援 計10回

①佐伯市 8回

佐伯市では、コミュニティビジョンの策定支援と職員研修を実施した。コミュニティビジョンにおいては、当法人が助言を行い、令和3年1月に「佐伯市地域コミュニティ推進指針」を策定した。職員研修では、モデル地区の担当職員を対象に、集落支援を実施するにあたっての流れやノウハウ等を説明した。研修終了後に集落支援の対象である、青山地区の考える会に職員に同行し、支援を行った。具体的な内容については、以下の通りである。

07月14日 佐伯市役所におけるビジョンづくり・地域支援(今後の進め方打ち合わせ)

09月02日 佐伯市役所ビジョン策定支援

10月08日 佐伯市役所における職員研修・地域支援(今後の進め方打ち合わせ)

11月04日 地域支援のための職員研修①

12月11日 地域支援のための職員研修、市との協議(これまでの報告と今後の進め方の検討)

02月09日 地域支援、職員研修に向けた事前打ち合わせ

03月04日 地域支援のための職員研修に向けた事前打ち合わせ

03月08日 地域支援のための職員研修②

②竹田市 2回

竹田市では、コミュニティビジョンの策定支援を実施した。コミュニティビジョン案に対して、当法人が助言を行った。竹田市では、令和2年12月に「竹田市地域コミュニティモデル地区形成ビジョン」を策定した。また、策定に伴い全庁職員向けの研修等(竹田市別予算)を実施し、市役所内の地域コミュニティ組織の認知度も向上している。具体的な内容については以下の通りである。

09月10日 竹田市地域コミュニティモデル地区形成ビジョンの策定支援(ビジョン内容の助言)

09月28日 竹田市地域コミュニティモデル地区形成ビジョンの策定支援(研修会の内容検討)

2) 集落における組織設立支援 計33回

①佐伯市 6回

佐伯市では、「青山地区を実り豊かにする会」を中心とする考える会の支援を行った。青山地区の現状を確認し、考える会のメンバー構成等を検討した。次年度以降も引き続き組織設立に向けた議論を進めて

いく。

- 11月04日 集落における組織設立支援(現地視察・ヒアリング・事前打ち合わせ) ※2回分
- 11月04日 集落における組織設立支援(実り豊かにする会) 当面のスケジュール検討、課題の整理
- 12月11日 集落における組織設立支援(事前打ち合わせ)
- 12月11日 集落における組織設立支援(実り豊かにする会) 考える会・準備会のメンバーの検討
- 03月08日 集落における組織設立支援(事前打ち合わせ)

②竹田市 10回

竹田市では、明治地区の「組織設立準備会」の支援を実施した。新組織の運営方法や組織図等の検討に対して、助言や会のファシリテーションを行い、令和2年9月に「コミュニティひろば i-meiji」が発足した。また、組織設立後も別予算で当法人が支援を実施した。

- 05月15日 第2回明治地区組織設立準備会打ち合わせ (準備会の方向性検討)
- 05月27日 第2回明治地区組織設立準備会打ち合わせ (活動方針の整理)
- 05月27日 第2回明治地区組織設立準備会 (新組織図の検討)
- 06月02日 第3回明治地区組織設立準備会打ち合わせ (組織図の検討)
- 06月10日 第3回明治地区組織設立準備会打ち合わせ (今後の進め方の検討)
- 06月18日 第3回明治地区組織設立準備会打ち合わせ (組織図の再検討) ※2回分
- 06月19日 第3回明治地区組織設立準備会打ち合わせ (次回準備会の進め方検討)
- 06月19日 第3回明治地区組織設立準備会 (組織図とアンケートについて)
- 06月25日 第4回明治地区組織設立準備会打ち合わせ (アンケート案の再検討)

③豊後大野市 11回

豊後大野市では、大野東部地区、大野南部地区、緒方町小富士地区の3地区の「考える会」の実施支援を行った。3地区ともグループワーク等を実施し、地区の現状を整理した後、今後の方針を検討した。次年度以降も、大野東部、南部地区では、「考える会」で引き続き議論を行う予定である。小富士地区では、議論がスムーズに進んだこともあり、次年度は「準備会」に移行する予定である。また、小富士地区は別予算で住民アンケート調査も実施した。具体的な内容については以下の通りである。

- 07月02日 豊後大野市役所との今後の進め方打ち合わせ

＜小富士地区＞

- 08月20日 小富士を考える会・関係者会議支援(現状のヒアリング)
- 09月04日 小富士を考える会・関係者会議支援(スケジュールの検討)
- 09月29日 小富士を考える会・関係者会議支援(考える会のメンバー検討、広報について)
- 10月07日 小富士を考える会・関係者会議支援(スケジュール等の確認、第一回検討会議の日程調整)

＜大野東部地区＞

- 08月27日 大野東部地区を考える会運営支援(第1回考える会企画・進行) 各自治会の実態把握
- 09月25日 大野東部地区を考える会運営支援(第2回考える会企画・進行) 今後の方向性検討
- 11月24日 大野東部地区を考える会運営支援(第3回考える会企画・進行)
市内の他協議会の活動事例研究、事例発表された協議会とのパネルディスカッション
- 03月09日 大野東部地区を考える会運営支援(第4回考える会企画・進行) 新年度の進め方検討
- 03月12日 大野東部地区を考える会運営支援(第5回考える会企画・進行) 東部地区今後の進め方検討

<大野南部地区>

11月17日 大野東部地区を考える会運営支援(第1回考える会企画・進行) 地区の現状と今後の方向性

④由布市 6回

由布市では、「阿蘇野地区まちづくり準備会」の運営支援を実施した。今年度は、主に住民アンケートの実施支援を行った。本事業では、アンケートの設計のみを担い、アンケートの作成、集計、報告等は別予算で実施した。また、中間支援組織の担い手候補として株式会社地域科学研究所と共に阿蘇野地区の支援を行った。次年度以降は、作成した住民アンケートをもとに、コミュニティ組織設立に向けて議論を進めていく。

08月31日 由布市阿蘇野地区まちづくり準備会運営支援

(中心メンバー顔合わせ、地区概況把握、今後の進め方検討)

09月08日 由布市阿蘇野まちづくり準備会運営支援(9月30日役員会準備の打ち合わせ)

09月23日 同上(9月30日の進め方の検討)

09月30日 由布市阿蘇野まちづくり準備会運営支援(役員会企画・進行)

(スケジュールとアンケート項目の検討)

03月02日 阿蘇野まちづくり準備会・事前打ち合わせ(来年度のスケジュール案検討)

03月10日 阿蘇野まちづくり準備会・事前打ち合わせ(総会説明資料の検討)

3) ガイドブックの作成

2020年度は、地域コミュニティ組織づくりガイドブックと地域コミュニティ組織運営ガイドブックの2冊を作成した。各ガイドブックの内容は以下の通りである。

①地域コミュニティ組織づくりガイドブック(市町村職員向け)

本ガイドブックは、Ⅰ総論を山浦、Ⅱ設立のプロセスと支援、Ⅲ参考資料を清水が担当し作成した。目次は以下の通りである。

Ⅰ 総論ー地域コミュニティ組織とは？ー

1. はじめに	3
2. 地域コミュニティ組織の概要	3
3. 地域コミュニティ組織の4つの特徴	5
4. 地域コミュニティ組織の強み	6
5. 地域コミュニティ組織の広がり	8
6. 地域コミュニティ組織の多様性	9
7. 地域コミュニティ組織の設立プロセスと行政支援	11
8. 地域コミュニティ組織支援の課題	13
9. まとめ	14

Ⅱ 設立のプロセスと支援

1. はじめに	16
2. 行政・関係機関の体制整備	16-19
3. 地域への問題提起、課題共有	20-25

4. 組織設立、活動計画策定	26-28
5. まとめ	28
Ⅲ 参考資料	
1. 住民アンケートひな形	30-34
2. 活動計画書ひな形	35-41

②地域コミュニティ組織運営ガイドブック（地域住民向け）

本ガイドブックは、P14-P15 のくらしのサポートセンター東・東飯田地区まちづくり協議会の事例を山浦、それ以外の事例を清水が担当した。目次は以下の通りである。

はじめに	1
関係人口の創出サイクル	（学生インターンシップ） 2-3
自主財源の獲得で夢を叶える協議会へ	（リサイクル資源回収） 4-5
農業イベントで地元農家を後押し	（宇佐クロダマル物語） 6-7
地元小学校の存続を目指して	（移住支援） 8-9
特産品開発で自主財源を獲得	（えごまの栽培、加工） 10-11
地区の財産を守り財源確保	（共有林の管理） 12-13
制度の隙間を埋める地域での支え合い （有償ボランティアによる生活支援）	14-15

（2）佐伯市（新たな地域コミュニティの構築に係る職員研修）

NWC 事業に加え、今後組織設立を検討している地域に対する説明会の支援を実施した。内容は以下の通りである。

- 03 月 13 日 新たな地域コミュニティ組織に係る職員研修（山口地区）
 03 月 28 日 新たな地域コミュニティ組織に係る職員研修（黒沢地区）

（3）竹田市（明治地区への支援、職員研修）

竹田市明治地区では、NWC 事業で、6 月 25 日の第 4 回準備会の打ち合わせ支援までを行い、7 月から 9 月の設立総会までを明治地区組織設立準備会と委託契約を結び支援を実施した。また、組織設立後も、コミュニティひろば i-meiji 企画委員会の支援を実施した。加えて、竹田市職員向けに地域コミュニティ組織の研修を実施した。

具体的な内容については以下の通りである。

＜明治地区組織設立準備会＞

- 07 月 第 4 回準備会 第 2 回住民アンケートの設計
 第 2 回住民アンケートの実施
 第 5 回準備会 アンケート結果の共有、組織名称等の検討
 08 月 第 6 回準備会 規約の検討、計画書の検討
 第 7 回準備会 計画書の検討
 09 月 第 8 回準備会 設立総会に向けて
 設立総会の実施

<コミュニティひろば i-meiji>

- 11月04日 第2回企画委員会4役打ち合わせ(今後の方向性)
- 11月06日 第2回企画委員会4役打ち合わせ
- 11月06日 第2回企画委員会 (今年度の事業計画の検討)
- 12月02日 第3回企画委員会4役打ち合わせ (今年度のスケジュール検討)
- 12月04日 第3回企画委員会4役打ち合わせ
- 12月04日 第3回企画委員会 (来年度の企画委員会について)
- 01月12日 第4回企画委員会4役打ち合わせ (よっちはなそう会の検討)
- 01月22日 第4回企画委員会4役打ち合わせ
- 01月22日 第4回企画委員会 (よっちはなそう会実施の有無、来年度の企画委員会について)
- 02月24日 第5回企画委員会4役打ち合わせ (第5回企画委員会の議題案検討)
- 02月26日 第5回企画委員会4役打ち合わせ
- 02月26日 第5回企画委員会 (自治会長を呼び、緊急時の連絡体制について協議)
- 03月11日 第6回企画委員会4役打ち合わせ (新年度第1回企画委員会の進め方検討)
- 03月18日 第6回企画委員会&令和3年度第1回企画委員会4役打ち合わせ (両会の進め方の検討)

<竹田市研修会>

- 10月28日 地域コミュニティ研修・入門編
- 11月13日 地域コミュニティ研修・実践編

(3) 豊後大野市(小富士地区)

(4) 由布市(阿蘇野地区アンケート実施支援業務)

由布市阿蘇野地区では、NWC事業で、アンケートの設計支援までを行い、アンケートの作成、集計、報告等の支援は由布市と委託契約を結び実施した。また、株式会社地域科学研究所と当法人で再委託契約を結び、阿蘇野地区の支援を共に行った。具体的な内容については以下の通りである。

- 10月21日 第3回阿蘇野まちづくり準備会 住民アンケート内容の協議
- 11月18日 第4回阿蘇野まちづくり準備会 住民アンケートの内容決定
- 11月26日 アンケート配布
- 12月16日 アンケート回収
- 01月27日 第5回阿蘇野まちづくり準備会・推進会議 アンケート結果の分析(暫定版)
- 02月24日 第6回阿蘇野まちづくり準備会・推進会議 アンケート結果の分析(中間版)

(5) 鹿児島県「コミュニティ・プラットフォーム整備促進事業」

鹿児島県庁では、「コミュニティ・プラットフォーム(CP)」として地域運営組織の設立、運営支援を行っている。2018年度より理事の山浦が個人として受託していたCP整備促進事業のアドバイザーおよび研修会講師の業務を法人で受けることとした。2020年度の具体的な事業内容は以下の通りである。

月 日
月 日
月 日

（６）その他

理事の山浦が大学の業務として宇佐市の地域コミュニティ組織の支援を行っているが、法人設立に伴いその一部を法人に移管し実施した。また、大分県おおいた創生推進課主催の「ネットワーク・コミュニティ推進事業研修会」の講師も行った。具体的な業務内容は以下の通りである。

＜宇佐市＞

09 月 日

10 月 日

＜ネットワーク・コミュニティ推進事業研修会＞

05 月 13 日 研修 DVD の収録

08 月 26 日 第 1 回ネットワーク・コミュニティ推進事業研修会（清水）

11 月 06 日 第 2 回ネットワーク・コミュニティ推進事業研修会（山浦）

02 月 10 日 第 3 回ネットワーク・コミュニティ推進事業研修会（清水、山浦）

（７）ホームページサイトの開設

昨年度実施できなかった、ホームページサイトの開設を行った。地域運営組織の概要、スタッフの紹介等を掲載した。また、昨年度の当法人定時総会の資料等のアップロードもしている、

4. 第2号議案 2020年度決算について

貸借対照表

(単位：円)

資産の部

現金及び預金	1,197,317	
流動資産合計		<u>1,197,317</u>
資産の部合計		<u>1,197,317</u>

負債の部

未払法人税等	214,000	
預り金	<u>35,632</u>	
流動負債合計		<u>249,632</u>
負債の部合計		<u>249,632</u>

純資産の部

資本金	31,000	
利益剰余金		
繰越利益剰余金	<u>916,685</u>	
その他利益剰余金合計	<u>916,685</u>	
利益剰余金合計	<u>916,685</u>	
株主資本合計		<u>947,685</u>
純資産の合計		<u>947,685</u>
負債及び純資産の部合計		<u>1,197,317</u>

損益計算書

(単位 : 円)

【売上高】

売上高	6,833,727
-----	-----------

(内訳)

<大分県>

令和2年度ネットワーク・コミュニティ

推進体制整備事業委託業務受託料	3,364,620
-----------------	-----------

大分県おいた創生推進課研修会講師料	88,425
-------------------	--------

<佐伯市>

新たな地域コミュニティの構築に係る職員研修講師料

(山口地区、黒沢地区)	51,240
-------------	--------

<竹田市>

明治地区組織設立準備会支援受託料	545,400
------------------	---------

コミュニティひろば i-meiji 企画委員会

業務サポート事業受託料	80,000
-------------	--------

竹田市職員研修会講師料	150,000
-------------	---------

<豊後大野市>

小富士地区地域コミュニティ再構築支援事業	941,950
----------------------	---------

<由布市>

由布コミュニティ(地域の底力再生)事業	1,106,592
---------------------	-----------

(再委託で 1,052,700 円を地域科学へ)

<宇佐市>

宇佐市地域コミュニティ組織支援受託料	65,500
--------------------	--------

<鹿児島県>

コミュニティ・プラットフォーム整備促進事業	440,000
-----------------------	---------

売上総利益	6,833,727
-------	-----------

【販売管理費】

販売管理費	6,011,736
-------	-----------

営業利益	821,991
------	---------

【営業外収益】

受取利息	5
------	---

経常利益	821,996
------	---------

【特別損失】

前期損益修正損	352
---------	-----

税引前当期純利益	821,644
----------	---------

【法人税等】

法人税等	236,600
------	---------

当期純利益	585,044
-------	---------

販売管理費	(単位 : 円)	当初予算(円)	増減(円)
役員報酬	3,896,592	3,900,000	△3,408
給料手当	413,687	0	413,687
法定福利費	171,816	170,000	1,816
外注費	1,052,700	0	1,052,700
接待交際費	17,160	2,000	15,160
旅費交通費	69,180	30,000	39,180
通信費	36,654	28,000	8,654
消耗品費	7,005	3,000	4,005
新聞図書費	14,696	0	14,696
支払手数料	30,635	26,400	4,235
車両費	127,675	30,000	97,675
租税公課	11,400	100,000	△88,600
支払報酬料	162,536	71,616	90,920
備品購入費	0	200,000	△200,000
雑費	0	5,000	△5,000
販 売 管 理 費	計 6,011,736	4,627,016	1,284,720
(※外注費を除く販売管理費の増減は、232,020 円)			

会計監査報告書

2020 年度会計監査を下記のとおり行いました。その結果を報告します。

2021 年 6 月 25 日（月）

一般社団法人コミュニティサポートおおいた

理 事

印

理 事

印

記

日 時 2021 年 6 月 25 日（金）

場 所

立 会 人 代表理事 清水 敦史

監査結果

提出された関係帳簿、証拠書類等を監査した結果、管理保管および経理処理は適法かつ正確であることを認めます。

4. 第3号議案 事業計画

(1) 組織運営体制の整備

前年度に引き続き、運営体制の整備を進める。2021年7月より一名スタッフを増やす予定であり、今まで中々着手できなかった法人の抱える業務のデザイン性向上を目指す。法人としての支援の幅を増やしていく。法人のパンフレット作成やホームページの刷新も実施する予定である。また、今年度より集落支援の担当を清水、市町村支援と集落支援の両方を要望している市の担当を山浦とする。

(2) 大分県「令和3年度ネットワーク・コミュニティ推進体制整備事業」

昨年度に引き続き、大分県おいた創生推進課が実施する「ネットワーク・コミュニティ（NWC）推進体制整備事業」を受託する。本事業は大分県における地域運営組織向けの中間支援事業で、昨年度の、「市町村の方針策定等の支援」、「集落における組織設立支援」、「ガイドブックの作成」に加え、「中間支援組織の育成」が盛り込まれている。具体的な内容は以下の通りである。

・ 中間支援組織の育成

自治体への助言や地域運営組織の設立支援を行う中間支援組織を育成するための研修の実施。

i) 集合研修

対 象：中間支援組織の候補となる組織

内 容：地域運営組織の基礎、地域運営組織の設立・運営、中間支援組織の役割等

回 数：3回

実施方法：具体的な対象や実施内容については県と協議して決定

ii) 0JT 研修

対 象：前述研修会に参加する組織

内 容：対象組織が、地域に入り組織設立をサポートする際に同行して 0JT を実施

回 数：概ね20回

再 委 託：0JT を実施する際、必要に応じて（1）（2）の業務を研修対象の組織へ再委託することが出来る。ただし、（1）（2）の合計の回数の1/2を上限とする。

実施方法：具体的な対象や実施内容については県と協議して決定

中間支援業務に取り組んでいる NPO 法人 3 組織を 5 月 7 日に訪問し、今年度の研修の参加依頼や NPO 法人の現状等のヒアリングを実施した。また、0JT 研修に関しては、昨年に引き続き、株式会社地域科学研究所を対象に実施する予定である。対象の地区は由布市阿蘇野地区と谷地区を予定している。

(3) その他地域運営組織への中間支援事業

「NWC 推進体制整備事業」については、支援の回数が限定されるため、対象となる地域のニーズに合わせ、派生、付随する事業も可能な限り引き受ける。またこの県事業以外にも、各行政機関や地域からの要請に応え、各種アドバイス、研修のコーディネート、講師等を積極的に担う。現状では、竹田市、豊後大野市、佐伯市が支援を希望している。

4. 第4号議案 2021年度予算について

【収入の部】

(単位： 円)

＜事業売上＞

令和3年度ネットワーク・コミュニティ推進

体制事業受託料	5,872,375
佐伯市コミュニティ組織支援受託料	1,000,000
竹田市コミュニティ組織支援受託料	999,840
豊後大野市支援受託料	1,000,000
その他研修会講師料	250,000
売上高	計 9,122,215

前年度繰越残高 585,044

収入の部の合計 9,707,259

【支出の部】

役員手当	3,900,000
給 与	2,400,000
法定福利費	344,000
外注費	650,000
旅費交通費	70,000
通信費	40,000
消耗品費	10,000
新聞図書費	15,000
支払手数料	35,000
車両費	150,000
租税公課費用	10,000
支払い報酬料	170,000
備品購入費	200,000
雑費	100,000
次年度運営資金の一部	1,603,259

支出の部の合計 9,707,259

5. 第5号議案 その他

以 上